

総務省「緑の分権改革調査事業」

「蕪栗沼・ふゆみずたんぼプロジェクト」

キックオフフォーラム開催のご案内

このたび大崎市では、総務省「緑の分権改革調査」により、「蕪栗沼・ふゆみずたんぼプロジェクト」を実施することとなりました。本市は、東日本大震災で公共施設や住家や店舗などに甚大な被害を受けましたが、地域の資源を活かし、周辺の自治体や住民と連携・協働し、速やかな地域経済の復興に取り組むべく、「緑の分権改革」に応募いたしました。本事業を通じて新たなチャレンジを行ってまいります。

その最初の取り組みとして10月27日（木）、プロジェクトのキックオフイベント「渡り鳥・生きものと私たち、命のゆりかご“蕪栗沼・ふゆみずたんぼ”フォーラム」を開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。

◆キックオフフォーラム内容

- ・日時：平成23年10月27日（木）13:30～
- ・場所：フォーラム ^{かごぼう}加護坊四季彩館（大崎市田尻大沢字加護峯山178-1）
※交流会 研修センターロマン館（大崎市田尻小塩字八ツ沢37-1）
- ・定員：50人
- ・申込締切：平成23年10月21日（金）※定員になり次第締切となりますのでご了承ください。
- ・参加費：男性4,000円、女性3,000円（交流会参加者のみ）※フォーラム参加費は無料です。
- ・プログラム（スケジュールは変更になる場合がございます）

13:30	開会
13:40	◆事業概要説明 ◆事業推進メンバー紹介：コンソーシアムメンバー及び「ふゆみずたんぼ広め隊」
14:00 ～14:30	プレゼンテーション1「ふゆみずたんぼによる被災水田復興プロジェクト（仮題）」 NPO法人田んぼ 理事長 岩渕成紀さん
14:30 ～15:00	プレゼンテーション2「蕪栗沼の四季と葦ペレット（仮題）」 NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ 副理事長 戸島潤さん
15:00 ～15:30	コンソーシアムメンバーからのエール 葉祥明さん（絵本作家） 上田壮一さん（Think The Earthプロジェクト事務局長） 風見正三さん（宮城大学事業構想学部 教授）
16:00 ～18:00	渡り鳥マガンねぐら入り観察会 ガイド：戸島潤さん（NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ副理事長） バスにて蕪栗沼に移動 マガンのねぐら入りを見学
18:30 ～20:30	◆交流会（場所：研修センターロマン館） ふゆみずたんぼで生まれたササニシキの新米や、大崎地域の美味をお楽しみ下さい ◆トーク「ふゆみずたんぼ米、美味しさの秘密」 ふゆみずササニシキ農家×ふゆみずたんぼ広め隊（若見朝子さん、工藤砂織さん）

PRESS RELEASE

➤ 蕪栗沼・周辺水田とふゆみずたんぼ

本市は、宮城県の北西部に位置し、江合川と鳴瀬川が育んだ広大で肥沃な大崎耕土が広がり、ササニシキやひとめぼれなど良質米の一大産地を形成しています。市東部に位置する「蕪栗沼」には毎冬最盛期には10万羽を超えるマガンなど渡り鳥が飛来しますが、これだけの数の渡り鳥が飛来する場所は国内外でも稀有です。

また、周辺の水田(約20ha)に冬期間水を張り渡り鳥の休息の場として提供するとともに、春から秋にかけては無農薬・無化学肥料で米を栽培し、人と渡り鳥との共生を目指した取組「ふゆみずたんぼ」が行われています。このような蕪栗沼を中心とした周辺水田での取組が契機となり、世界で初めて名称に水田を冠したラムサール条約登録湿地「蕪栗沼・周辺水田」が2005年に誕生しました。



蕪栗沼の壮大なマガンのねぐら入り



ふゆみずたんぼに飛来する渡り鳥

➤ 「蕪栗沼・ふゆみずたんぼプロジェクト」の概要

本プロジェクトは「緑の分権改革調査事業(総務省)」を活用して実施してまいります。「緑の分権改革」は、地域の活性化、絆の再生を図ることにより、地域から人材、資金が流出する中央集権型の社会構造を、分散自立・地産地消・低炭素型の地域主権型社会へと転換することをめざすものであり、そのために、地域の豊かな自然環境、再生可能なクリーンエネルギー、安全で豊富な食料、歴史文化資産の価値等を最大限活用し、地方公共団体と市民、NPO等の協働・連携により、地域の自給力と創富力(富を生み出す力)を高めるしくみをつくるものです。

本調査事業については、今年度、全国から171の提案があり、本市を含め32件が採択されました。

本年度は、以下の実証調査・活動を通じ、環境保全・生物多様性を活用した地域経済の活性化、震災復興を結びつける試みを行います。

(参考:総務省「緑の分権改革」URL: http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/bunken_kaikaku.html)

・ キックオフフォーラムの開催 2011年10月27日

・ 大崎&仙台・女性による応援組織の立ち上げ・運営

仙台市、大崎市在住の女性による「ふゆみずたんぼ広め隊!(仮称)」を組織し、蕪栗沼やふゆみずたんぼの魅力および本取組をブログ、フェイスブック、ツイッターなどソーシャルメディアを通じて情報発信します。

・ アグリ・コミュニティビジネス研修

市民、農家、商工業者、NPOなどを対象に人材育成研修を実施します。地域資源の再価値化、資源とニーズのマッチングについて学び、多様な主体の協働による地域循環事業モデル(例えば販路の開拓、食や宿泊の拠点整備、葦のバイオマス活用、被災地との連携モデル等)の企画を行います。また、研修の一環として仙台市内での食イベントやマルシェへの出展やモニターツアーも試行いたします。

・ ふゆみずたんぼによる津波被災水田の復興

被害農地(田)の迅速な復興に「ふゆみずたんぼ」が効果があるとの社会実験結果が出ていることから、南三陸町等と連携し、「ふゆみずたんぼ」研修や、塩分濃度の測定など実証調査を行います。

・ 蕪栗沼の葦のペレット活用

蕪栗沼の葦を伐採し、ペレット化・試行販売を行い、バイオマス・エネルギーとしての活用を推進するための実証を行います。

・ 映像、絵本、webサイトによる情報発信

蕪栗沼、ふゆみずたんぼ、渡り鳥など、人と自然の絆による生物多様性の促進や、豊かで幸せな地域コミュニティづくりなどに係る物語を伝達するため各種メディアを作成し、地域の住民、子どもたちをはじめ、国内はもとより海外にも広報いたします。

【申込み・問い合わせ先】

大崎市産業経済部産業政策課 担当:高橋直樹, 高橋克行, 三宅

TEL:0229-23-2281 FAX:0229-23-7578 Eメール:sangyo@city.osaki.miyagi.jp

申 込 用 紙

必要事項を記載し、FAXでお申込みください。

お名前	
貴社・貴団体名	
電話番号	
ファックス	
メールアドレス	
ご参加を希望されるプログラム ※○を付けて下さい。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全てのプログラム (13:30~20:30) 2. フォーラム (13:30~15:30) 3. マガンねぐら入り見学 (16:00~18:00) 4. 懇親会 (18:30~20:30)
田尻駅からの無料送迎バス(13:00 田尻駅発)を利用されますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ

■フォーラム会場のアクセス方法



かごぼう
加護坊四季彩館

〒989-4303

宮城県大崎市田尻大沢加護峯山 178-1

TEL : 0229-39-0404

◇東北自動車道「古川 IC」から車で約 30 分

◇JR 東北本線「田尻駅」からタクシーで約 10 分

※電車を利用の場合は、13:00 発の無料送迎バス
を利用下さい。(参考：仙台駅<11:41 発>—小
牛田駅乗換—田尻駅<12:52 着>)